

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県森林科学館
指定管理者	公益社団法人埼玉県農林公社
評価対象年度	平成31年度（令和元年度）
施設所管課	秩父農林振興センター

項目	細項目	評価	コメント
利用者の安心・安全、平等利用の確保	安全性の確保	A	日常点検をこまめに行い、遊歩道の危険箇所の把握・対応を速やかに行った。結果、指定管理者の瑕疵を問われるような事故もなく、安全性の確保が図られた。
	法令等の遵守	A	各種法定点検を適切に実施しており、また個人情報の漏えいなども認められなかった。
	平等利用の確保	A	利用日、利用時間ともに守られており、台風や定期点検のために臨時休業をする場合も県に協議するなど適切な処置をとっている。
施設の設置目的の達成	事業の実施	A	木製遊具の設置や森林・林業に関するパネルの展示を行い、県民が森林および林業について学習する機会を設けている。
	利用状況	A	台風19号の影響で臨時閉園したが、それまでの利用人数は例年の管理目標の達成率を上回った。再開後の来園者数も前年同月の来園者数を上回った。
	適切な管理の履行	A	日常点検を確実にし、また修繕を行ったときは定期報告に記載して県に報告するなど、適切に管理していた。
	財産の適切な管理	A	施設の老朽化により修繕することが多くなっているが、原因究明や修繕等、適切に対応した。
	県内中小企業者、環境、障害者雇用等への配慮	A	役務・物品ともに地元中小企業からの調達に努めた。木工製品の企画に授産施設と連携するなど、障害者雇用へ配慮した。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	意見ノートを設置し、来園者の意見を管理運営の改善に役立てている。
	利用者の満足度	A	アンケート調査で「よい」と回答した人の割合は、施設利用者89%、イベント参加者98%であった。
総合評価		A	日常の維持管理やイベントの開催など、適正に管理した。

特筆事項	特に評価すべき点	秩父鉱山めぐりや中津芋栽培体験等、地域の特性を活かした多彩なイベントを数多く企画していた。また、木工工作のバリエーションを増やすなどリピーターの獲得に努めていた。
	次年度に向けて改善が望まれる点	台風19号の影響により遊歩道等の一部が損壊しているため、利用の促進と利用者の安全の両立に一段の配慮が望まれる。